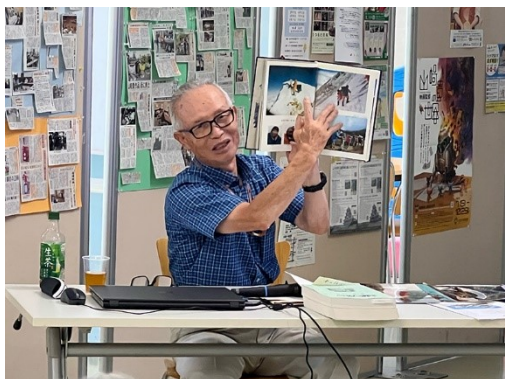


### プラチナサロン（令和5年8月10日） 「自然と山と私」

講師：佐藤 善則さん（山と自然に親しむ会顧問）

今回は、「山と自然に親しむ会」顧問の佐藤善則さんを講師にお招きし、佐藤さんが山と自然に親しむ会を設立した経過や、2013年にエベレスト街道トレッキングを実行したときに撮影をした2600枚もの写真や映像を交えてお話しいただきました。



佐藤さんは、子どもの頃から自然が好きで、現在所属する山岳会「山と自然に親しむ会」を立ち上げて今年で34年目を迎えました。毎年30回以上の登山を計画し、安全安心登山を心掛けて登り続けています。仲間と共に楽しく、山に、自然に親しむことに喜びを感じているとのこと。お話から、本当に山や自然が好きな方だと伝わってきました。

また、毎月発行している「会報」は令和5年8月号で376号を数え、長野県の山岳会の会報としては最も多い発行だそうです。

会が長く続く秘訣は？と参加者の方からの質問に、「会員みんなでやろうという気持ちが大事、未永く続く会にしたいと思い後継者を育てて引き継いで来たのが長く続く秘訣です」と話されていたのが印象的でした。

## プラチナサロン（令和5年7月13日）「檜と日本人」・簡単な箸づくり体験

講師：鬼頭朝雄（プラチナサポーターズ松本）

今回は、85歳現役の家具職人である鬼頭朝雄さんから、檜と日本人の関わりと檜の魅力と5つのテーマ（1. 枡 マス、2. マンションのリフォーム、3. プレハブの増築、4. 檜の歴史、5. 法隆寺五重塔）に沿ってお話していただきました。



檜は耐水性や耐久性に富んで光沢があり建材として最高品質のものとされています。

マンションのリフォーム工事でフローリング材に檜を使用するにあたり、全部カンナで削ってしまうより檜は節があるほうが檜らしく、節を残してほしいとお客さんに言われたという話や、檜の歴史、檜を作って高さ36mの法隆寺五重塔を約6か月かけて1/40のスケールで作ったお話など鬼頭さんの檜への思いを聞くことができました。後半は、みなさんお楽しみの檜のマイ箸づくり体験を行いました。

初めてカンナを扱った人には持ち方や削り方のアドバイスを講師の鬼頭さんから教えていただきました。それぞれ個性豊かに檜で作った箸が出来上がり、お互いの箸を見せ合いながら楽しい講座となりました。



## プラチナサロン（令和5年6月8日）「チンチン電車沿線歴史散歩⑨」清水地区 善昌寺周辺を歩く

講師：臼井光裕（プラチナサポーターズ松本）

梅雨入り前の蒸し暑い中、今回も大勢の方に参加いただき、チンチン電車沿線歴史散歩シリーズ9回目となる清水地区善昌寺周辺の歴史を巡り、地域に関わる人物の事績を学びました。



現在清水1の交差点近くには、当時清水駅舎があり“清水銀座商店街”と呼ばれ賑やかだった街の面影を残した昭和39年頃の広告看板が残っています。皆さん声を上げて写真を撮っているのが印象的でした。

その後、一方通行を道なりに進んでいくとひっそりと佇む槻井泉神社がありました。樹齢300年と言われる大きなケヤキは市特別天然記念物に指定されており、神社の御神木として存在しています。石鉢の中央から湧水が噴出している池があり、実際に水を飲んでみるとまろやかな軟水でした。ちょうどペットボトルに水を汲もうとしている方がおり、まさにこの泉は地域の憩いの場として大切にされていると感じました。

善昌寺で住職の講和を聞いたあと、講師の臼井さんから善昌寺にある関徴席（せき びせき）の石造物を中心に文化・文政時代の俳譜・狂歌の高まりが始まったという歴史を聞きました。狂歌師十返舎一九が松本を訪れたのが、「慶林堂高美屋」現在の「高美書店」です。店先に立っている歌碑には、松本の過去から未来の繁栄を祝福するという意味が込められています。興味がある方は一度訪れてみてはいかがでしょうか。

## プラチナサロン（令和5年5月11日）「野鳥&樹木ウォッチング in アルプス公園」

講師：樹木医・森林インストラクター根萩達也さん、プラチナサポーターズ上條恒嗣さん

新緑が眩しい陽射しの中、今回はアルプス公園でプラチナサロンを開催しました。

アルプス森のかけ橋からスタートし、早速生息しているフジの説明を受け参加者からは熱心に質問が飛び交っていました。

園内を進んでいく中で珍しい草花があると、根萩講師さんから貴重な話を聞き、みなさん写真やメモを取っていました。コナラの実の中にタマバチの幼虫がいて、それを餌として育てており、まさにお菓子のお家に住んでいるという説明に関心されていました。



草花の説明を聞き進んで行くと鳥の鳴き声が聞こえるたびに、上條講師さんから鳥の名前と特徴について説明がありました。特にアルプス公園を代表とする“キビタキ”という黄色い鳥は姿が見られなくて残念でした。

今回は一般の参加者の方も多く共通の趣味の話で盛り上がり、鳥のさえずりを聞きながら楽しいサロンとなりました。



## プラチナサロン（令和5年4月13日）才能教育「スズキメソード」創設者「鈴木鎮一先生の子供への愛」を聞く

講師：アジア賞審査委員長/エッセイスト 北村 明也さん



今回のプラチナサロンは、スズキ・メソッドの創始者、鈴木鎮一先生の功績について北村明也さんよりお話を伺いました。

スズキ・メソッドは鈴木先生が唱えられた「才能は生まれつきではない、どの子も育つ 育て方ひとつ」のモットーで知られる、日本が世界に誇る幼児教育法です。名古屋生まれの鈴木先生が松本で音楽院を設立した背景には、松本市民の理解と大きな支援があったそうです。

音楽を教えることが全てではない、私は善良な市民を作りたい、幼い頃に感受性・規律性・忍耐性を養う能力をつくるのが子どもにとって最も大切だと、ガク都松本の礎を創ってくれました。

また、北村先生の話の中で、現在ロシアのウクライナ侵攻による子どもの虐待が大きな問題になっており、改めて鈴木先生の「子どもへの愛」による教育が見直されているという話に共感しました。

後半は、鈴木鎮一記念館副館長等々力由季子さん提供の「未来を奏でるスズキ・メソッド」のDVDを視聴し約800人の子ども達が一心不乱にバイオリンを弾く映像は印象に残りました。